

不適切な伝達手段の例

- ・不適切な信号発光(形状、色)
- ・指差呼称、復誦などのしつけ不足
- ・一方的な伝達(多数のFAX送信など)

間違った指示の混入の例

- ・意図的な改ざん
- ・類似標識の混在
- ・類似伝達手段の混在

(5) 指示(口頭・電話・メール・FAXなど光、音、旗)

(A1)指示が伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(A2) 指示が遅れる

(A3)間違った指示の混入

悪環境の例

発光を認識できない理由

- ・雪、雨、霧による視界不良
- ・逆光が強い
- ・線路が大きくカーブしている
- ・途中にトンネルがある
- ・途中に遮蔽物(木など)がある
- ・不適切な装備(サングラスなど)
- ・騒音で聞こえない

指示主体(組織)

(1) Not Providing(指示が出ない)

(AC1)ミッションではない

(AC2)基準が曖昧で指示出さない

(AC3)担当者/責任者不在で判断できず

(AC4)担当者曖昧で指示出さない

(AC5)結果が不安で指示出さない

(AC6)担当者がスキル不足で状況を理解できず指示出さない

(知識不足、曖昧な知識、不安、訓練未熟)で指示出さない

(AC7)担当者が別件で忙しくて指示出さない

(2) Providing causes hazard (間違った指示が出る、遅れる)

(AC8)基準が曖昧で指示遅れる

(AC9)基準が曖昧で間違った指示を出す

(AC10)間違った組織に指示を出す

被指示主体(組織)

(3)オMISSIONエラー(指示通りに実行しない)

(AP1)ミッションではないので受け取らない

(AP2)責任者/担当者不在で放置

(AP3)責任者/担当者スキル不足で放置(曖昧な対応知識、対応知識なし、不安、訓練不足)

(AP4)担当者が別件で忙しく放置

(AP5)結果が不安で放置

(4)COMMISSIONエラー(間違って実施)

(AP6)責任者/担当者不在で対応が遅れる

(AP7)対応の仕方が解らず誤った対応

(6)フィードバック(口頭・電話・メール・FAXなど)

(F1)フィードバックが伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(F2)フィードバックの遅れ

(F3)間違ったフィードバック